

# 記入上の留意点

平成30年度

(様式2)

土地調書

・将来現地を確認できるように所在地を詳しく記入  
 ・**植栽地の名称は必ず記入**  
 (施設、公園、河川、道路、里山名等)

植栽予定地	所在地	植栽予定地の名称-公園名、通称など- ( <b>※必記</b> )		
	面積	※ 位置図(1/50,000 地形図を利用した略図)を添付	植栽予定地を含む全域の面積を記入	
	ほか	桜の植栽(占有)面積	植栽されたさくらが生育できる範囲(枝の伸びせる範囲 20~30年後に枝を張る範囲)を記入	
区分	公園・施設周辺・道路・河川・里山・その他			
植栽予定地の所有者	住所			
	氏名			
植栽予定地の現況及び施設等の利用状況	現在の状況	原則、公共(有)地とするが、私有地の場合、さくらが生存している間は公開されることが約束されていること		
	利用状況	公園名・通称等( ) ※ 近景および遠景の写真を必ず添付してください。		
植栽の目的	さくらを植栽すること、育ててゆくことの意義を記入			
	※ 植栽者あるいは管理者として桜の植栽に対する意義、目的、効果、申請理由を記入してください。			
寄贈希望品種、数量および植栽間隔	品 種 名	本 数	植 栽 間 隔 ( 樹 間 )	m ~ m
		本	・原則、植栽予定地に適した品種 ・希望品種を記入 (但し、植栽目的、植栽予定地の自然環境及び在庫の関係上希望の品種が納品されない場合もある ・数量については、植栽面積、植栽間隔、景観構成により決定される	
		本		
		本		
		本		
合 計	本			
植栽予定日	平成 年 月 日	◎ サトザクラ類は、1本/36㎡~ 64㎡以上(植栽間隔:6~8m以上)		
植樹祭等	有・無 ( 年 月 日 )	◎ カンヒザクラは、1本/25㎡~ 64㎡以上(植栽間隔:5~8m以上) 必要です。		
植樹後の手入れ主体及び手入れ	住所	〒		
	氏名	電話	E-mail:	
若木納	・ <b>納品、受取り担当者を記入</b> ・担当者は、必ず連絡がとれる方を選任 ・原則、さくら若木・事業表示石碑・品種表示板は、同一の場所としますが、受入の都合上、やむを得ない場合は事前に相談すること ・担当者に移動や変更が生じた場合速やかに連絡をすること			
	担当	氏名		
	電話	E-mail		
	F A X			

※ A4書式に統一して下さい。